



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.791 2011年6月27日

ARIBからのお知らせ

講演会開催のお知らせ  
「ICT技術の未来に向けたYRPの取り組みについて」

当会の高度無線通信研究委員会では、YRP（横須賀リサーチパーク）の各種検討会での取り組み、次世代携帯端末開発試験用のテストベッド紹介などを行う講演会を下記の通り開催いたします。

講演会参加希望者を会員の皆様より広く募集しておりますので、ぜひご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

- 1 日時 : 平成23年7月22日（金） 15:30から17:30まで
- 2 場所 : 一般社団法人電波産業会 第2・3会議室（日土地ビル11階）
- 3 題名 : 「ICT技術の未来に向けたYRPの取り組みについて」
- 4 講師 : YRP研究開発推進協会 事務総局長 仲川 史彦 様  
（株）横須賀テレコムリサーチパーク テストベッド事業統括部  
営業・技術部長 中村 稔 様
- 5 概要 : 電波を活用した新産業の創出を目指すブロードバンドワイヤレスフォーラム等、YRPの各種検討会での取り組み、海外の通信ネットワークを日本国内に再現し、次世代携帯端末の開発試験が可能となるテストベッドの紹介を致します。  
さらに、ICT技術に特化した内容で実施している人材育成事業についても紹介を致します。
- 6 申込み : 平成23年7月13日（水）までに下記連絡先までお願いします。
- 7 連絡先 : 一般社団法人電波産業会 研究開発本部 木幡

[kihata@arib.or.jp](mailto:kihata@arib.or.jp) TEL 03-5510-8594

電波の安全性に関する説明会開催のお知らせ

当会は、総務省地方総合通信局との共催により、電波の安全性に関する説明会を開催します。本説明会は、一般の方々を対象に、電波の性質や人体に与える影響をわかりやすく説明し、電波の安全性に関して正しく理解していただくためのものです。

開催日時・場所は、下記の通りです。

記

【長野県・佐久市】

- 1 日時 : 平成23年6月30日（木） 13:30から16:00（受付13:00から）

2 場所 : 佐久勤労者福祉センター

3 講演および講師

- ・講演1: 「安心して電波を利用するために」

総務省 信越総合通信局 無線通信部長

苑田 洋史 様

- ・講演2: 「電波の生体への影響と安全性について」

首都大学東京 大学院 理工学研究科 教授

多氣 昌夫 様

詳細につきましては、次の URL をご覧ください。

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/shinetsu/sbt/hodo/h23/110518-2.html>

【京都府・京都市】

1 日時 : 平成 23 年 9 月 16 日 (金) 時間未定

2 場所 : 未定

【岐阜県・岐阜市】

1 日時 : 平成 23 年 10 月 4 日 (火) 時間未定

2 場所 : 未定

ARIBの動き

### 標準規格及び技術資料のホームページによる情報提供状況について

当会は、ARIB標準規格及び技術資料のより一層の普及を図るため、平成20年4月からARIB標準規格及び技術資料のホームページからのダウンロードを提供しています。

以下に平成22年度のダウンロード状況について、前年度との比較を交え報告します。

1 平成22年度の概要

◇1年間のダウンロード総件数は約46万件となり、前年度比で約11%増加した。

◇分野別でダウンロード件数の最も多いのは、標準規格(放送分野)国内(112,374件)で、次が技術資料(放送分野)国内(90,980件)である。

◇この1年間の増加率で最も高いのは、技術資料(通信分野)国内で約33%増加した。また標準規格(通信分野)国内、技術資料(放送分野)の国内及び海外も高く、いずれも約20%増加した。

◇ドキュメント別(表1)では、年間ダウンロード件数の上位を、前年度と同様に放送分野が占めており、特に1位、2位のTR-B14、STD-B24は昨年と変わらない。また英語翻訳版についてはダウンロードの7割前後が海外からのものである。

2 平成22年4月から平成23年3月末までの1年間のダウンロード件数 [( )は前年度の件数,増加率]

総件数 : 459,293 (415,479, +11%)

標準規格(通信分野)国内 : 79,719 (66,345, +20%) 技術資料(通信分野)国内 : 7,324 (5,491, +33%)

標準規格(通信分野)海外 : 56,515 (52,374, +8%) 技術資料(通信分野)海外 : 7,204 (7,690, -6%)

標準規格(放送分野)国内 : 112,374(103,945,+8%) 技術資料(放送分野)国内 : 90,980(75,022,+21%)

標準規格(放送分野)海外 : 67,295 (72,911,-8%) 技術資料(放送分野)海外 : 37,882 (31,701,+19%)

3 ダウンロード件数の推移（平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月）

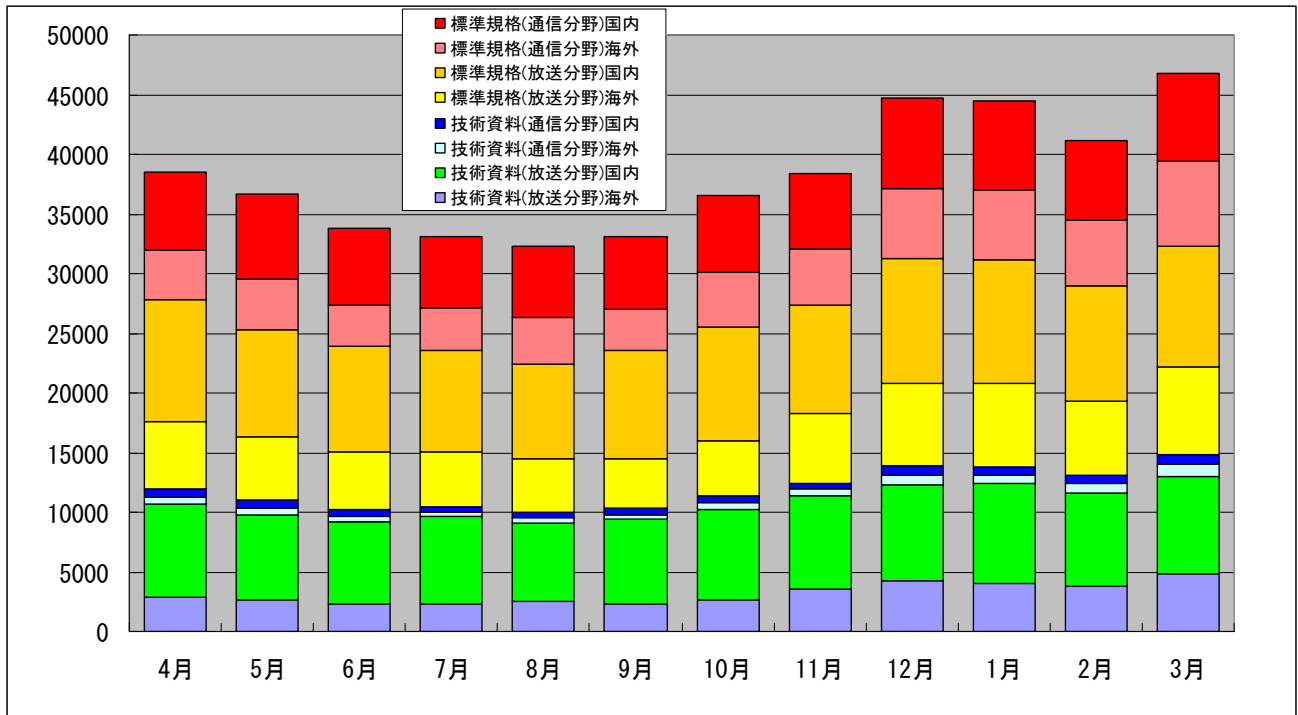


表 1 標準規格・技術資料 年間ダウンロード Top20 件のドキュメント

順位	標準規格/ 技術資料番号	文書名	ダウンロード数		
			Total	海外	海外 比率
1	TR-B14	地上デジタルテレビジョン放送運用規定	36,736	4,795	13.1%
2	STD-B24	デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式	23,490	4,434	18.9%
3	TR-B15	BS/広帯域 CS デジタル放送運用規定	18,321	3,141	17.1%
4	STD-B24 (英語翻訳版)	Data Coding and Transmission Specification for Digital Broadcasting	12,112	9,179	75.8%
5	STD-B21	デジタル放送用受信装置（望ましい仕様）	8,287	1,623	19.6%
6	STD-B32	デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式	8,237	1,417	17.2%
7	STD-B10	デジタル放送に使用する番組配列情報	8,130	1,560	19.2%
8	STD-B31	地上デジタルテレビジョン放送の伝送方式	7,491	1,373	18.3%
9	TR-B14 (英語翻訳版)	OPERATIONAL GUIDELINES FOR DIGITAL TERRESTRIAL TELEVISION BROADCASTING	6,744	4,693	69.6%
10	TR-B15 (英語翻訳版)	OPERATIONAL GUIDELINES FOR DIGITAL SATELLITE BROADCASTING	5,671	3,757	66.2%
11	STD-B25	デジタル放送におけるアクセス制御方式	5,454	1,345	24.7%
12	STD-T96	特定小電力無線局 950MHz 帯テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備	5,049	1,088	21.5%
13	TR-B13	地上デジタル音声放送運用規定	4,923	1,239	25.2%
14	STD-T66	第二世代小電力データ通信システム/ワイヤレス LAN システム	4,826	1,065	22.1%

15	STD-T61	狭帯域デジタル通信方式 (SCPC/FDMA)	4,264	990	23.2%
16	TR-B26	衛星デジタル音声放送運用規定	4,107	1,136	27.7%
17	STD-B21 (英語翻訳版)	RECEIVER FOR DIGITAL BROADCASTING (DESIRABLE SPECIFICATIONS)	3,852	3,021	78.4%
18	STD-T94	OFDMA Broadband Mobile Wireless Access System (WiMAX™ applied in Japan)	3,651	1,927	52.8%
19	TR-B27	サーバー型放送	3,603	1,037	28.8%
20	STD-T64	IMT-2000 MC-CDMA System	3,550	1,839	51.8%

### 第 174 回業務委員会を開催

第 174 回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成 23 年 6 月 15 日(水) 午後 2 時から 3 時 38 分まで
- 2 場所 当会第 2 会議室
- 3 主な議題
  - (1) 標準規格及び技術資料のホームページによる情報提供状況についての報告
  - (2) 第 27 回 XGP フォーラム臨時総会の結果についての報告
  - (3) 国際がん研究機関(IARC)による電波の発がん性リスク評価結果についての報告
  - (4) 第 80 回規格会議の開催についての説明
  - (5) 規格会議運営細則等の改正についての説明
  - (6) 東日本大震災に伴う「照会業務の処理結果報告書」の有効期限延長についての説明
  - (7) 第 61 回「電波の日」総務大臣表彰についての報告

### 第 182 回技術委員会（通信分野）を開催

第 182 回技術委員会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成 23 年 6 月 22 日(水) 午後 2 時から 3 時 30 分まで
- 2 場所 当会第 2 会議室
- 3 主な議題
  - (1) ARIB 標準規格及び技術資料のホームページでの提供状況についての報告
  - (2) 国際がん研究機関(IARC)の電波の発ガン性評価結果についての報告
  - (3) 最近の電波利用システムの標準化動向についての報告
  - (4) 第 80 回規格会議の開催についての説明
  - (5) 第 27 回 XGP フォーラム臨時総会の結果についての報告
  - (6) 平成 23 年度マルチメディア移動アクセス(MMAC)フォーラム総会の結果についての報告
  - (7) 平成 23 年度 ITS 情報通信システム推進会議総会の結果についての報告
  - (8) 第 61 回「電波の日」総務大臣表彰についての報告

BWA 部会 副部長 中村 道春  
(株式会社富士通研究所 ネットワークシステム研究所  
ワイヤレス信号処理研究部)



私は現在、高度無線通信研究委員会の中の BWA 部会の副部長を拝命しておりますが、私と ARIB の係わりは、高度無線通信研究委員会の前身である IMT-2000 研究委員会の下にあった所要スペクトラム AdHoc 及びスペクトラムハーモナイゼーション AdHoc に参加したことに始まります。1998 年のことでした。

所要スペクトラム AdHoc は、WRC-2000 で IMT-2000 用周波数の追加配分を議論するための根拠となる資料を作成することを目的とし、スペクトラムハーモナイゼーション AdHoc は、米国が 2GHz 帯の IMT-2000 で FDD の上りと下りを逆に使用することを TG8/1(現在の WP5D に相当)に提案していたことへの対応を扱うものでした。

当時は、3GPP も設立される前で、欧州や日本などでそれぞれ IMT-2000 仕様の原型を議論し始めていたところで、そのときに 2010 年時点のデータ通信需要、と言ってどれだけのことが言えるのだろうか?と思いつつも、ITU-R の会合スケジュールからすると正しいタイミングで議論をしていることは理解できました。また、スペクトラムハーモナイゼーション AdHoc では、パリで臨時に行われた専門家会合に参加し、国際会議での駆け引きや論法にすぐに接することとなりました。

その後私は、3GPP や IEEE802 などの場で国際標準化に係る仕事をするようになっていきました。国際標準化の舞台で活躍する多くの諸先輩方には遠く及ばないのですが、国際標準化の現場を知り、その強化が競争力維持・拡大のために重要であることを肌身に感じながら今日の仕事をしております。その第一歩を踏み出すことになった場で私をご指導くださった当時の関係者に感謝する次第です。

## 編集後記

今回の ARIB NEWS より、編集・発行に加わりました。ARIB からのお知らせ、ARIB の動き、私と ARIB などの記事を諸先輩方に指導を受けつつ、完成させることができました。今後は、ARIB NEWS 読者のみなさんによい記事を届けることを心がけていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。  
(編集子：Oz)

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル11F  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<http://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)